

わたしたちが広島で感じたこと



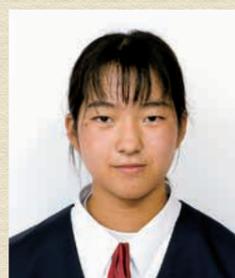
＝永明中学校 2年＝
若林 陸さん

旅を通して、戦争は「言葉では表せない凄惨なもの」という新しい価値観が芽生えました。「世界平和」を求めることは容易ではないが、この先も人が人らしく生きていけるように、武力での解決はせず、自分と相手の意見を尊重するような打開策を推進していきたいです。

私は、広島の旅でとても貴重な体験をさせていただきました。平和式典の参加や灯籠流しを行い、沢山のことを学びました。改めて戦争の恐ろしさを知り、今後、二度と繰り返さないよう、しっかり次の世代につなげていきたいと思いました。



＝永明中学校 2年＝
濱 柚季さん



＝北部中学校 2年＝
工藤 綾華さん

私は、今回の広島平和の旅に参加させていただいて、たくさんの知ったことや感じたことがありました。一つは核兵器の恐ろしさ、もう一つは、今の生活のありがたさです。実際に原爆の被害者である方のお話を伺って、今普通にある当り前のような幸せが当時にはなかったこと、核兵器一つでたくさんの人の幸せだったはずの生活が失われてしまったことを知り、感じました。この知ったこと、それを通して感じたことを大切に、今ある幸せに感謝し平和な世の中になるために大切なことを考えて生活していきたいです。

この3日間で実際に被災者の方のお話をお聞きしたり、平和記念式典に参列させていただき、平和とは何なのか、命の尊さを深く考えさせられました。この貴重な経験で感じたことをしっかりと周りの人につたえていきたいです。



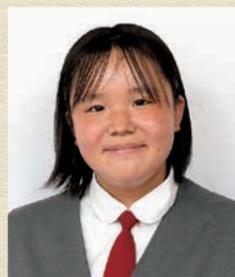
＝北部中学校 2年＝
江尻 詩乃さん



＝東部中学校 2年＝
名取 遥さん

今回の旅を通して、本当にたくさんの人種や年齢も様々な人が、記念式典や資料館を訪ね、平和を願っているという事にとっても驚き感動しました。私も日本だけではなく、他国の戦争の歴史をもっと学び、より多くの人々に伝えていきたいです。

私は、8月5日から7日まで、広島平和の旅に参加し、平和について考えました。この3日間を通して私は、平和とは、誰もが平等であり、全員に幸せが与えられることだと思いました。これからも平和について考えたいです。



＝東部中学校 2年＝
藤井 結菜さん



＝長峰中学校 2年＝
林 すみれさん

自分の目で見、肌で感じることで、広島でおきた78年前の現実について改めて考えさせられました。今回もち帰ったものを今度は、私が伝えていきたいと思います。この旅で出会った仲間をこれからも大切にしていきたいです。

この3日間はとても、大切に価値があると思います。原爆によって水が毒になったり、チョコレートは一切れだけでもうれしい気持ちになる当時の大変さを見て感じる事ができました。この「大変さ」が知らない人が多くなる中、ぼくたちのできることをしっかり継いでいきたいです。



＝長峰中学校 2年＝
名取 宥翔さん

広島平和の旅

茅野市では、非核平和事業の一環として、市内の4中学校の2年生を対象に非核平和への想いを作文にいただき、最優秀賞に選ばれた8名を8月に広島へ派遣しています。

広島市で行われる「広島平和記念式典」への参列、平和記念資料館などの見学や被爆された方から直接お話を聞くなど、平和の大切さや平和の尊さを学んでいます。

8名の中学生が広島平和の旅で感じたことや平和への想いをご紹介しますとともに、旅の様子もお伝えいたします。

平和記念式典

8月6日、平和祈念式典に参列しました。厳肅な雰囲気の中で慰霊碑へ献花をし、原爆が投下された午前8時15分には、平和への祈りと被爆者への慰霊の念を込めて、黙とうを捧げました。



原爆被害者証言のつどい「8・6証言のつどい」

被爆者の方から、被爆当時の広島市内の様子や、友人や家族を亡くしつらい思いをしたこと、今も原爆の後遺症に苦しみながら生活されている方が大勢いることなどをお聞きしました。



原爆ドーム



原爆の子の像

市内の中学生や市民の皆さんに折っていただいた千羽鶴を平和記念公園の「原爆の子の像」に捧げました。



灯籠流し

平和への願いを込めて灯籠を制作し、灯籠流しに参加しました。

